



Symposium Report

2012年度 公開シンポジウム報告

自伝的記憶と心理療法

—記憶に触れることの困難と意義—

日 時：2012年12月23日（日）

場 所：甲南大学18号館3階 講演室

主 催：甲南大学人間科学研究所

総合司会 富樫公一

シンポジスト 森 茂起「トラウマの記憶に触れることの治療的意義」

北川 恵「アタッチメント臨床における記憶の扱い」

福井義一「記憶に触れることは援助的か

—身体志向心理療法の立場から—

指定討論 西 欣也